

研修修了の評価方法と合格基準

令和6年2月9日作成

1. 出題範囲

- ・「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。

2. 出題形式

- ・四肢択一形式とする。

3. 出題数と配点方法

- ・四肢択一問題 25問 全問正解：100点満点
問題1～25 4点

4. 合否判定基準

- ・60点以上（6割以上）

5. 不合格になったときの対応方法

- ・不合格者には、原則1週間以内に補講（1時間）のうえ再評価（1時間）を行う。なお、再評価に係る合格基準は6割以上とし、補講料・再評価料は無料とする。

※出題範囲：科目の範囲、テキストの範囲等を記載する。

※出題形式：選択式、記述式等形式を記載する。

※出題数と配点：出題形式の数とそれの配点（合計は100点）を記載する。

※合否判定基準：基準点数を記載する。

※不合格対応：補講・再評価（いつ、時間数）を行うか。補講料・再評価料の有無と金額等を記載すること。